

ダイワ欧州輸出関連株ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第7期

(決算日 2018年11月27日)

(作成対象期間 2018年5月29日~2018年11月27日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	約5年間(2015年6月1日~2020年5月27日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券
	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)および店頭登録(登録予定を含みます。)(以下「欧州の取引所上場等」といいます。)の株式等(以下「欧州の株式等」といいます。) ※欧州の株式等には、欧州を本社所在地とする企業の株式および欧州の取引所上場等の不動産投資信託証券(不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券をいいます。)を含みます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの実質株式組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、欧州の株式等の中から輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる銘柄に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5664>

<5665>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、ユーロベース)		株式組入比率	株式先物率 比	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
3期末(2016年11月28日)	円 8,543	円 0	% △ 3.9	8,947	% △ 0.1	% 99.1	% -	百万円 975
4期末(2017年5月29日)	10,073	0	17.9	10,421	16.5	97.3	-	603
5期末(2017年11月27日)	9,954	0	△ 1.2	10,403	△ 0.2	97.6	-	455
6期末(2018年5月28日)	10,227	50	3.2	10,761	3.4	96.8	-	342
7期末(2018年11月27日)	9,063	0	△11.4	10,012	△ 7.0	96.8	-	148

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

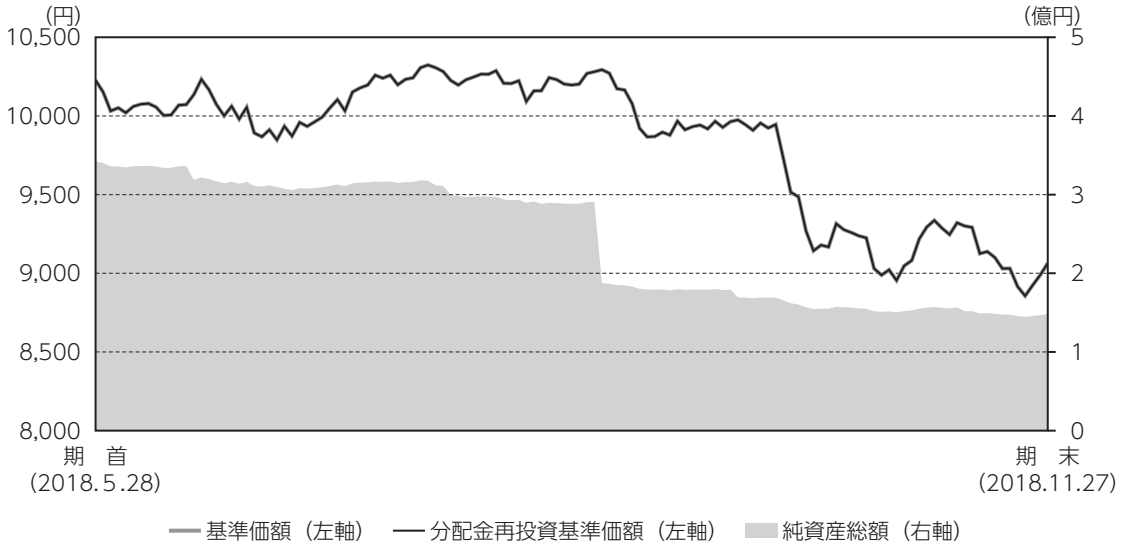
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,227円

期末：9,063円（分配金0円）

騰落率：△11.4%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

欧州株式に投資した結果、基準価額は下落しました。米中貿易摩擦激化への懸念に加え、英国のEU（欧州連合）離脱交渉の行き詰まりやイタリア予算案をめぐるイタリア政府とEUの対立などを背景に、欧州株式市況が下落したことが主なマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ヨーロッパ指数 (配当込み、ユーロベース) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
	円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2018年 5月28日	10,227	% -	10,761	% -	% 96.8	% -
5月末	10,051	△ 1.7	10,632	△1.2	97.6	-
6月末	9,848	△ 3.7	10,417	△3.2	95.8	-
7月末	10,307	0.8	10,799	0.3	95.7	-
8月末	10,271	0.4	10,672	△0.8	97.7	-
9月末	9,944	△ 2.8	10,728	△0.3	97.9	-
10月末	9,082	△11.2	9,903	△8.0	95.0	-
(期末) 2018年11月27日	9,063	△11.4	10,012	△7.0	96.8	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.5.29~2018.11.27)

■欧州株式市況

欧州株式市況は下落しました。

欧州株式市況は、当作成期首より、イタリアの財政規律への懸念から下落して始まりました。その後は一時反発する場面もありましたが、米中貿易摩擦に対する懸念から再び下落しました。2018年7月は、欧州と米国の自動車輸入関税をめぐる貿易摩擦への警戒感が後退したことなどが好感されて、堅調推移となりました。8月から10月にかけては、米中貿易摩擦激化への懸念に加え、英国のEU（欧州連合）離脱交渉の行き詰まりやイタリア予算案をめぐるイタリア政府とEUの対立などを背景に下落しました。11月に入ると、米中貿易摩擦に対する懸念の後退を受けて上昇しましたが、当作成期末にかけては、イタリアの予算案をめぐる不透明感などから軟調な展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

当ファンドでは、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

インフレ率が低位にとどまり世界的な景気回復が続く中、グローバル市場で強い競争力を持つ欧州企業にとって収益機会は拡大していると考えています。企業によるさまざまな投資の増加や、このところのユーロ安の進展もポジティブな要因とみています。差別化できる製品・サービスを背景として高い市場占有率を持ち、グローバル市場で収益拡大が期待される企業を中心に選別したいと考えています。組み入れにあたっては個別企業の事業環境見通しやバリュエーションに注目し、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2018.5.29~2018.11.27)

■当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

また、当ファンドでは、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないました。

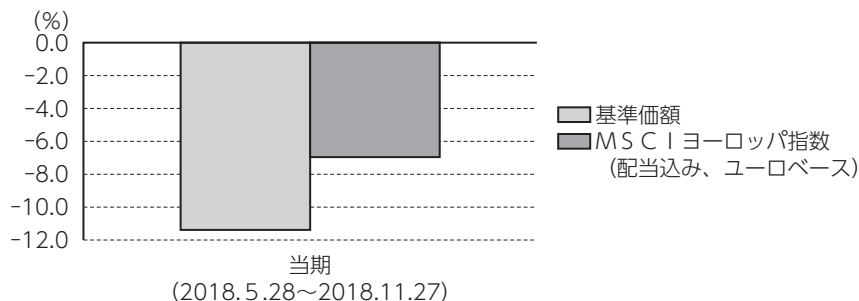
■ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

世界的な競争力を有し、世界経済の拡大を背景に利益成長が見込めるなど、外需の恩恵を受ける銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。銘柄選別にあたっては、業界平均を上回る業績拡大が期待され、バリュエーションに過熱感がない銘柄を中心に組み入れました。業種では、新興国の成長を取り込むなどグローバルに事業を展開し、強い競争力を持つ銘柄を中心に、ヘルスケアセクターや生活必需品セクターを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数には、欧州企業で構成されるMSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）を掲載しております。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年5月29日 ～2018年11月27日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	376

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

当ファンドでは、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

インフレ率が低位にとどまり世界的な景気回復が続く中、グローバル市場で強い競争力を持つ欧州企業にとって収益機会は拡大していると考えています。企業によるさまざまな投資の増加や、ユーロ安の進展もポジティブな要因とみています。差別化できる製品・サービスを背景として高い市場占有率を持ち、グローバル市場で収益拡大が期待される企業を中心に選別したいと考えています。組み入れにあたっては個別企業の事業環境見通しやバリュエーションに注目し、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018.5.29~2018.11.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	88円	0.893%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,828円です。
（投 信 会 社）	(43)	(0.433)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(43)	(0.433)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.043	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(4)	(0.043)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0.020	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(2)	(0.020)	
そ の 他 費 用	19	0.190	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(16)	(0.161)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0.026)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	113	1.146	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年5月29日から2018年11月27日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	31,899	29,500	214,230	202,700

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年5月29日から2018年11月27日まで)

項 目	当 期
	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	505,389千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	380,900千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.32

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	356,686	174,355	146,877

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	146,877	97.7
コール・ローン等、その他	3,490	2.3
投資信託財産総額	150,367	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月27日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=145.44円、1スイス・フラン=113.69円、1デンマーク・クローネ=17.24円、1スウェーデン・クローネ=12.49円、1ユーロ=128.63円です。

(注3) ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(252,322千円)の投資信託財産総額(267,429千円)に対する比率は、94.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	296,163,761円
コール・ローン等	2,995,802
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド(評価額)	146,877,183
未収入金	146,290,776
(B) 負債	148,160,997
未払金	146,013,570
未払信託報酬	2,141,020
その他未払費用	6,407
(C) 純資産総額(A - B)	148,002,764
元本	163,296,087
次期繰越損益金	△ 15,293,323
(D) 受益権総口数	163,296,087口
1万口当り基準価額(C / D)	9,063円

* 期首における元本額は334,733,007円、当作成期間中における追加設定元本額は773,604円、同解約元本額は172,210,524円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,063円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は15,293,323円です。

ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジあり）

■損益の状況

当期 自2018年5月29日 至2018年11月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 852円
受取利息	297
支払利息	△ 1,149
(B) 有価証券売買損益	△16,826,863
売買益	29,501,878
売買損	△46,328,741
(C) 信託報酬等	△ 2,147,629
(D) 当期損益金(A + B + C)	△18,975,344
(E) 前期繰越損益金	6,096,038
(F) 追加信託差損益金	△ 2,414,017
(配当等相当額)	(57,274)
(売買損益相当額)	(△ 2,471,291)
(G) 合計(D + E + F)	△15,293,323
次期繰越損益金(G)	△15,293,323
追加信託差損益金	△ 2,414,017
(配当等相当額)	(57,274)
(売買損益相当額)	(△ 2,471,291)
分配準備積立金	6,096,038
繰越損益金	△18,975,344

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	57,274
(d) 分配準備積立金	6,096,038
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	6,153,312
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	6,153,312
(h) 受益権総口数	163,296,087口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式先 物率 比	純資 産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
3期末(2016年11月28日)	円 7,114	円 0	% △ 9.6	7,850	% △ 3.0	% 98.2	% -	百万円 177
4期末(2017年5月29日)	8,671	0	21.9	9,530	21.4	98.1	-	209
5期末(2017年11月27日)	8,973	0	3.5	10,184	6.9	97.6	-	210
6期末(2018年5月28日)	8,968	0	△ 0.1	10,145	△ 0.4	98.8	-	187
7期末(2018年11月27日)	7,965	0	△ 11.2	9,475	△ 6.6	97.5	-	107

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIヨーロッパ指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

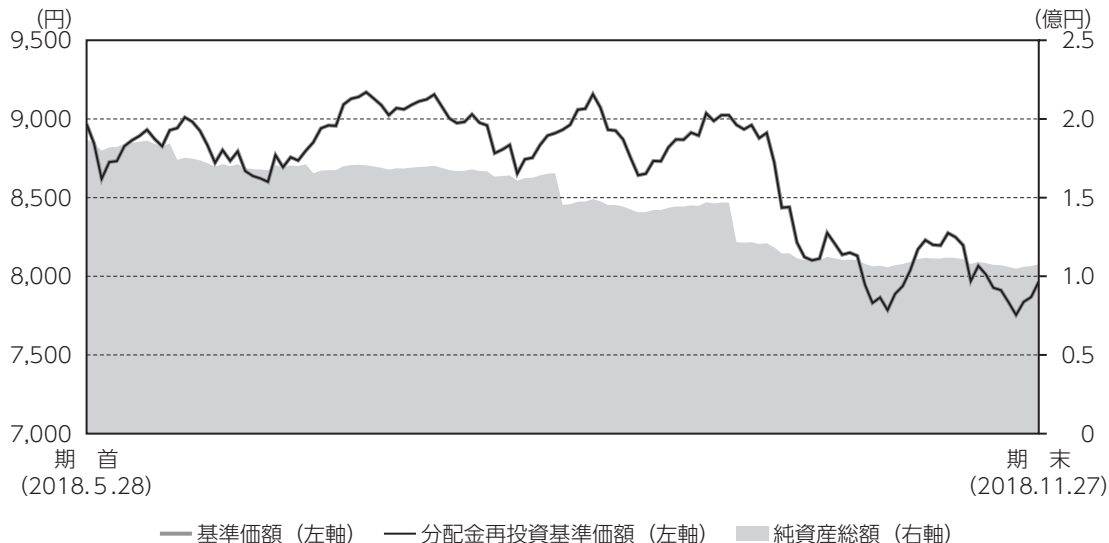
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：8,968円

期末：7,965円（分配金0円）

騰落率：△11.2%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

欧州株式に投資した結果、基準価額は下落しました。世界的に投資家心理が改善した局面で欧州主要通貨が円に対して上昇したことはプラス要因となりましたが、米中貿易摩擦激化への懸念に加え、英国のEU（欧州連合）離脱交渉の行き詰まりやイタリア予算案をめぐるイタリア政府とEUの対立などを背景に、欧州株式市況が下落したことが主なマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ヨーロッパ指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
		騰 落 率		騰 落 率		
(期首) 2018年 5月28日	円 8,968	% -	10,145	% -	% 98.8	% -
5月末	8,726	△ 2.7	9,913	△2.3	97.0	-
6月末	8,600	△ 4.1	9,803	△3.4	96.1	-
7月末	9,124	1.7	10,323	1.8	96.5	-
8月末	9,072	1.2	10,173	0.3	97.7	-
9月末	8,962	△ 0.1	10,429	2.8	98.8	-
10月末	7,938	△11.5	9,358	△7.8	96.3	-
(期末) 2018年11月27日	7,965	△11.2	9,475	△6.6	97.5	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.5.29~2018.11.27)

■ 欧州株式市況

欧州株式市況は下落しました。

欧州株式市況は、当作成期首より、イタリアの財政規律への懸念から下落して始まりました。その後は一時反発する場面もありましたが、米中貿易摩擦に対する懸念から再び下落しました。2018年7月は、欧州と米国の自動車輸入関税をめぐる貿易摩擦への警戒感が後退したことなどが好感されて、堅調推移となりました。8月から10月にかけては、米中貿易摩擦激化への懸念に加え、英国のEU（欧州連合）離脱交渉の行き詰まりやイタリア予算案をめぐるイタリア政府とEUの対立などを背景に下落しました。11月に入ると、米中貿易摩擦に対する懸念の後退を受けて上昇しましたが、当作成期末にかけては、イタリアの予算案をめぐる不透明感などから軟調な展開となりました。

■ 為替相場

欧州主要通貨は対円で上昇しました。

為替相場は、米中貿易摩擦に対する懸念がやや和らいだことや、ECB（欧州中央銀行）による早期利上げ観測などを背景に、当作成期首から2018年7月中旬にかけて欧州主要通貨は円に対して上昇しました。8月には、トルコ・リラ急落を受けた新興国通貨の下落を背景に、欧州主要通貨も対円で下落しました。9月には、トルコをはじめとした新興国市場への懸念が後退したことや、英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展などを受けて投資家心理が改善したことから、欧州主要通貨は上昇しました。10月以降は、英国のEU離脱交渉やイタリア予算案をめぐる警戒感から、欧州主要通貨は円に対して下落基調となり、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■ ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

インフレ率が低位にとどまり世界的な景気回復が続く中、グローバル市場で強い競争力を持つ欧州企業にとって収益機会は拡大していると考えています。企業によるさまざまな投資の増加や、このところのユーロ安の進展もポジティブな要因とみています。差別化できる製品・サービスを背景として高い市場占有率を持ち、グローバル市場で収益拡大が期待される企業を中心に選別したいと考えています。組み入れにあたっては個別企業の事業環境見通しやバリュエーションに注目し、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2018.5.29~2018.11.27)

■当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

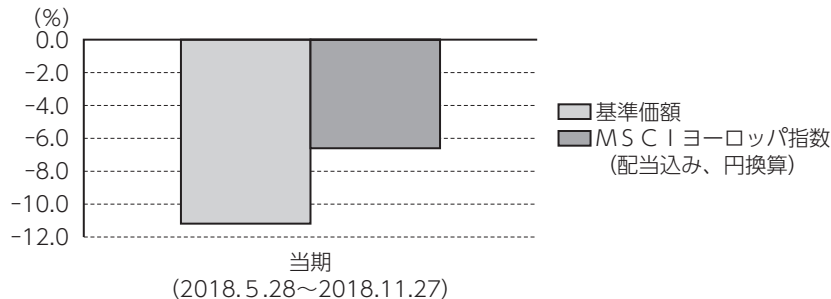
■ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

世界的な競争力を有し、世界経済の拡大を背景に利益成長が見込めるなど、外需の恩恵を受ける銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。銘柄選別にあたっては、業界平均を上回る業績拡大が期待され、バリュエーションに過熱感がない銘柄を中心に組み入れました。業種では、新興国の成長を取り込むなどグローバルに事業を展開し、強い競争力を持つ銘柄を中心に、ヘルスケアセクターや生活必需品セクターを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数には、欧州企業で構成されるMSCIヨーロッパ指数（配当込み、円換算）を掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年5月29日 ～2018年11月27日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	281

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

インフレ率が低位にとどまり世界的な景気回復が続く中、グローバル市場で強い競争力を持つ欧州企業にとって収益機会は拡大していると考えています。企業によるさまざまな投資の増加や、ユーロ安の進展もポジティブな要因とみています。差別化できる製品・サービスを背景として高い市場占有率を持ち、グローバル市場で収益拡大が期待される企業を中心に選別したいと考えています。組み入れにあたっては個別企業の事業環境見通しやバリュエーションに注目し、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.5.29~2018.11.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	77円	0.893%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,666円です。
（投 信 会 社）	(38)	(0.433)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(38)	(0.433)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.045	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(4)	(0.045)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0.020	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(2)	(0.020)	
そ の 他 費 用	18	0.207	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(16)	(0.182)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.023)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	101	1.166	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2018年5月29日から2018年11月27日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	1,524	1,400	72,656	68,300

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2018年5月29日から2018年11月27日まで）

項 目	当 期
	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	505,389千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	380,900千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.32

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	198,955	127,823	107,678

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月27日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	107,678	98.7
コール・ローン等、その他	1,417	1.3
投資信託財産総額	109,095	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月27日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=145.44円、1スイス・フラン=113.69円、1デンマーク・クローネ=17.24円、1スウェーデン・クローネ=12.49円、1ユーロ=128.63円です。

（注3）ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（252,322千円）の投資信託財産総額（267,429千円）に対する比率は、94.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	109,095,600円
コール・ローン等	1,117,351
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド(評価額)	107,678,249
未収入金	300,000
(B) 負債	1,313,726
未払信託報酬	1,309,846
その他未払費用	3,880
(C) 純資産総額(A - B)	107,781,874
元本	135,323,937
次期繰越損益金	△ 27,542,063
(D) 受益権総口数	135,323,937口
1万口当り基準価額(C / D)	7,965円

* 期首における元本額は208,573,123円、当作成期間中における追加設定元本額は309,749円、同解約元本額は73,558,935円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は7,965円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は27,542,063円です。

■損益の状況

当期 自2018年5月29日 至2018年11月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 161円
受取利息	14
支払利息	△ 175
(B) 有価証券売買損益	△12,256,915
売買益	563,028
売買損	△12,819,943
(C) 信託報酬等	△ 1,313,730
(D) 当期損益金(A + B + C)	△13,570,806
(E) 前期繰越損益金	△ 9,089,744
(F) 追加信託差損益金	△ 4,881,513
(配当等相当額)	(486,692)
(売買損益相当額)	(△ 5,368,205)
(G) 合計(D + E + F)	△27,542,063
次期繰越損益金(G)	△27,542,063
追加信託差損益金	△ 4,881,513
(配当等相当額)	(486,692)
(売買損益相当額)	(△ 5,368,205)
分配準備積立金	3,319,338
繰越損益金	△25,979,888

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	486,692
(d) 分配準備積立金	3,319,338
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,806,030
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,806,030
(h) 受益権総口数	135,323,937口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年11月27日）

（作成対象期間 2018年5月29日～2018年11月27日）

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	欧州の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）（以下「欧州の取引所上場等」といいます。）の株式等（以下「欧州の株式等」といいます。） ※欧州の株式等には、欧州を本社所在地とする企業の株式および欧州の取引所上場等の不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券をいいます。）を含みます。
株式組入制限	無制限

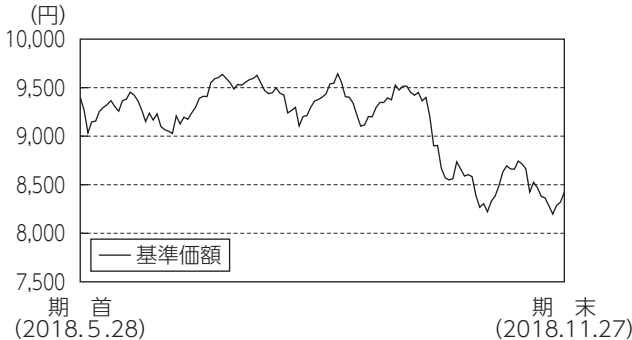
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比 率	
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		%	%
(期首)2018年5月28日	9,401	-	10,145	-	98.8	-	-
5月末	9,148	△ 2.7	9,913	△2.3	97.0	-	-
6月末	9,028	△ 4.0	9,803	△3.4	96.2	-	-
7月末	9,594	2.1	10,323	1.8	96.5	-	-
8月末	9,554	1.6	10,173	0.3	97.8	-	-
9月末	9,451	0.5	10,429	2.8	99.4	-	-
10月末	8,384	△10.8	9,358	△7.8	96.4	-	-
(期末)2018年11月27日	8,424	△10.4	9,475	△6.6	97.6	-	-

- (注1) MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、ユーロベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、ユーロベース) は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注4) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,401円 期末：8,424円 騰落率：△10.4%

【基準価額の主な変動要因】

欧州株式に投資した結果、基準価額は下落しました。世界的に投資家心理が改善した局面で欧州主要通貨が円に対して上昇したことはプラス要因となりましたが、米中貿易摩擦激化への懸念に加え、英国のEU (欧州連合) 離脱交渉の行き詰まりやイタリア予算案をめぐるイタリア政府とEUの対立などを背景に、欧州株式市況が下落したことが主なマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○欧州株式市況

欧州株式市況は下落しました。

欧州株式市況は、当作成期首より、イタリアの財政規律への懸念から下落してまいりました。その後は一時反発する場面もありまし

たが、米中貿易摩擦に対する懸念から再び下落しました。2018年7月は、欧州と米国の自動車輸入関税をめぐる貿易摩擦への警戒感が後退したことなどが好感されて、堅調推移となりました。8月から10月にかけては、米中貿易摩擦激化への懸念に加え、英国のEU (欧州連合) 離脱交渉の行き詰まりやイタリア予算案をめぐるイタリア政府とEUの対立などを背景に下落しました。11月に入ると、米中貿易摩擦に対する懸念の後退を受けて上昇しましたが、当作成期末にかけては、イタリアの予算案をめぐる不透明感などから軟調な展開となりました。

○為替相場

欧州主要通貨は対円で上昇しました。

為替相場は、米中貿易摩擦に対する懸念がやや和らいだことや、ECB (欧州中央銀行) による早期利上げ観測などを背景に、当作成期首から2018年7月中旬にかけて欧州主要通貨は円に対して上昇しました。8月には、トルコ・リラ急落を受けた新興国通貨の下落を背景に、欧州主要通貨も対円で下落しました。9月には、トルコをはじめとした新興国市場への懸念が後退したことや、英国のEU (欧州連合) 離脱交渉の進展などを受けて投資家心理が改善したことから、欧州主要通貨は上昇しました。10月以降は、英国のEU離脱交渉やイタリア予算案をめぐる警戒感から、欧州主要通貨は円に対して下落基調となり、当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

インフレ率が低位にとどまり世界的な景気回復が続く中、グローバル市場で強い競争力を持つ欧州企業にとって収益機会が拡大していると考えています。企業によるさまざまな投資の増加や、このところのユーロ安の進展もポジティブな要因とみています。差別化できる製品・サービスを背景として高い市場占有率を持ち、グローバル市場で収益拡大が期待される企業を中心に選別したいと考えています。組み入れにあたっては個別企業の事業環境見通しやバリュエーションに注目し、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

◆ポートフォリオについて

世界的な競争力を有し、世界経済の拡大を背景に利益成長が見込めるなど、外需の恩恵を受ける銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。銘柄選別にあたっては、業界平均を上回る業績拡大が期待され、バリュエーションに過熱感がない銘柄を中心に組み入れました。業種では、新興国の成長を取り込むなどグローバルに事業を展開し、強い競争力を持つ銘柄を中心に、ヘルスケアセクターや生活必需品セクターを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数には、欧州企業で構成されるMSCIヨーロッパ指数 (配当込み、円換算) を掲載しております。

《今後の運用方針》

インフレ率が低位にとどまり世界的な景気回復が続く中、グローバル市場で強い競争力を持つ欧州企業にとって収益機会が拡大していると考えています。企業によるさまざまな投資の増加や、ユーロ安の進展もポジティブな要因とみています。差別化できる製品・サービスを背景として高い市場占有率を持ち、グローバル市場で収益拡大が期待される企業を中心に選別したいと考えています。組み入れにあたっては個別企業の事業環境見通しやバリュエーションに注目し、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
有価証券取引税 (株式)	2 (2)
その他費用 (保管費用) (その他)	18 (15) (2)
合計	24

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2018年5月29日から2018年11月27日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	イギリス	百株	千イギリス・ポンド	百株	千イギリス・ポンド
		(15.1 -)	(31 -)	311.3	579
	スイス	百株	千スイス・フラン	百株	千スイス・フラン
		(25.4 -)	(336 △ 0)	59.9	734
デンマーク	百株	千デンマーク・クローネ	百株	千デンマーク・クローネ	
	(28.9 -)	(688 -)	28.2	1,225	
スウェーデン	百株	千スウェーデン・クローネ	百株	千スウェーデン・クローネ	
	(7 -)	(148 -)	32.2	759	
国	ユーロ (アイルランド)	百株 (-)	千ユーロ (-)	百株 (-)	千ユーロ (32)

■主要な売買銘柄

株 式

(2018年5月29日から2018年11月27日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	株 数	金 額	平均単価	銘柄	株 数	金 額	平均単価		
	千株	千円	円		千株	千円	円		
KONINKLIJKE PHILIPS NV (オランダ)	3.4	15,693	4,615	COMPASS GROUP PLC (イギリス)	7.35	17,544	2,387		
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN (スイス)	0.6	15,661	26,101	KONINKLIJKE PHILIPS NV (オランダ)	3.4	17,047	5,014		
NOVARTIS AG-REG (スイス)	1.25	12,575	10,060	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN (スイス)	0.6	16,905	28,176		
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES (ドイツ)	1.5	11,061	7,374	NESTLE SA-REG (スイス)	1.81	16,506	9,119		
DIASORIN SPA (イタリア)	0.9	10,967	12,186	NOVARTIS AG-REG (スイス)	1.85	16,415	8,873		
AMBU A/S-B (デンマーク)	2.4	8,911	3,713	FRESENIUS SE & CO KGAA (ドイツ)	1.83	16,180	8,841		
TKH GROUP NV-DUTCH CERT (オランダ)	1.2	8,502	7,085	KOENIG & BAUER AG (ドイツ)	1.67	11,778	7,052		
SAP SE (ドイツ)	0.57	7,384	12,954	ORPEA (フランス)	0.74	11,586	15,656		
NESTLE SA-REG (スイス)	0.64	5,403	8,442	LONZA GROUP AG-REG (スイス)	0.335	11,462	34,215		
VALEO SA (フランス)	0.98	4,791	4,889	RECKITT BENCKISER GROUP PLC (イギリス)	1.14	10,880	9,544		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	ユーロ (オランダ)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		(46 -)	(188 -)	48.2	198
	ユーロ (ベルギー)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		(4.1 -)	(34 -)	10.7	88
	ユーロ (ルクセンブルク)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		(1.6 -)	(12 -)	7.9	61
	ユーロ (フランス)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		(18.5 -)	(104 △ 0)	43.55	448
ユーロ (ドイツ)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
	(20.7 △ 0.05)	(143 △ 2)	74.9	414	
ユーロ (スペイン)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
	(12.7 -)	(12 -)	-	-	
ユーロ (イタリア)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
	(9 -)	(84 -)	3.6	32	
ユーロ (フィンランド)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
	(5.6 -)	(23 -)	58	27	
ユーロ (オーストリア)	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
	(- -)	(- -)	9.7	29	
国	ユーロ (ユーロ通貨計)	百株 (118.2 △ 0.05)	千ユーロ (604 △ 2)	百株	千ユーロ
				267.15	1,332

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首		期末		業種等	
	株数	株数	評価額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千円	千円		
BRITVIC PLC	78.3	—	—	—	生活必需品	
BAE SYSTEMS PLC	112.1	74.4	38	5,544	資本財・サービス	
AVEVA GROUP PLC	14.5	—	—	—	情報技術	
SOPHOS GROUP PLC	30	20	7	1,027	情報技術	
DIAGEO PLC	36	16.1	45	6,588	生活必需品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	17.5	6.1	40	5,922	生活必需品	
ASTRAZENECA PLC	21.8	12.8	78	11,426	ヘルスケア	
ASHTREAD GROUP PLC	32	18.7	33	4,876	資本財・サービス	
IMPERIAL BRANDS PLC	40.4	17.4	42	6,174	生活必需品	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	23.4	17.8	48	7,033	生活必需品	
COMPASS GROUP PLC	94.4	20.9	35	5,149	一般消費財・サービス	
イギリス・ポンド 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	500.4 11銘柄	204.2 9銘柄	369 53,744	<21.1%>	
(スイス)	百株	百株	千円	千円		
NESTLE SA-REG	31	19.3	163	18,567	生活必需品	
FISCHER (GEORG)-REG	0.7	0.15	12	1,383	資本財・サービス	
AMS AG	2	2	5	643	情報技術	
NOVARTIS AG-REG	18.5	12.5	110	12,576	ヘルスケア	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	1.4	0.9	54	6,246	ヘルスケア	
LOGITECH INTERNATIONAL-REG	17	4.6	15	1,759	情報技術	
LONZA GROUP AG-REG	5.7	2.35	71	8,111	ヘルスケア	
スイス・フラン 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	76.3 7銘柄	41.8 7銘柄	433 49,289	<19.4%>	
(デンマーク)	百株	百株	千円	千円		
NOVO NORDISK A/S-B	31	17.8	542	9,354	ヘルスケア	
PANDORA A/S	10.4	3.9	141	2,434	一般消費財・サービス	
GENMAB A/S	7.6	4	401	6,923	ヘルスケア	
AMBU A/S-B	—	24	330	5,693	ヘルスケア	
デンマーク・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	49 3銘柄	49.7 4銘柄	1,415 24,406	<9.6%>	
(スウェーデン)	百株	百株	千円	千円		
ESSITY AKTIEBOLAG-B	45.3	20.1	445	5,563	生活必需品	
スウェーデン・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	45.3 1銘柄	20.1 1銘柄	445 5,563	<2.2%>	
ユーロ (アイルランド)	百株	百株	千ユーロ	千円		
CRH PLC	17	6.4	15	2,025	素材	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	17 1銘柄	6.4 1銘柄	15 2,025	<0.8%>	
ユーロ (オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円		
UNILEVER NV-CVA	18.2	8.4	40	5,230	生活必需品	
TKH GROUP NV-DUTCH CERT	—	7.6	33	4,285	資本財・サービス	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	18.2 1銘柄	16 2銘柄	73 9,515	<3.7%>	
ユーロ (ベルギー)	百株	百株	千ユーロ	千円		
GALAPAGOS NV	9	6	52	6,794	ヘルスケア	
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	8.4	4.8	32	4,155	生活必需品	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	17.4 2銘柄	10.8 2銘柄	85 10,950	<4.3%>	
ユーロ (ルクセンブルク)	百株	百株	千ユーロ	千円		
STABILUS SA	15.8	9.5	62	8,004	資本財・サービス	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	15.8 1銘柄	9.5 1銘柄	62 8,004	<3.1%>	

銘柄	期首		期末		業種等	
	株数	株数	評価額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ (フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円		
KERING	0.7	—	—	—	一般消費財・サービス	
DANONE	—	5.3	34	4,487	生活必需品	
LEGRAND SA	16.2	9.4	50	6,495	資本財・サービス	
PERNOD RICARD SA	4.4	—	—	—	生活必需品	
LVMH MOÏET HENNESSY LOUIS VUITTON	4.1	2.15	55	7,096	一般消費財・サービス	
ACCOR SA	23.97	14.27	56	7,250	一般消費財・サービス	
CAPGEMINI SE	9.5	4.8	49	6,390	情報技術	
VALEO SA	—	9.8	26	3,378	一般消費財・サービス	
ORPEA	7.4	—	—	—	ヘルスケア	
RENAULT SA	16.7	12.2	75	9,745	一般消費財・サービス	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	82.97 8銘柄	57.92 7銘柄	348 44,843	<17.6%>	
ユーロ (ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円		
SIEMENS AG-REG	7.4	4.1	42	5,403	資本財・サービス	
FRESENIUS SE & CO KGAA	18.3	—	—	—	ヘルスケア	
UNITED INTERNET AG-REG SHARE	11	—	—	—	コミュニケーション・サービス	
SAP SE	4.3	6.1	54	7,061	情報技術	
KOENIG & BAUER AG	16.7	—	—	—	資本財・サービス	
PUMA SE	0.05	—	—	—	一般消費財・サービス	
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	—	11	57	7,349	一般消費財・サービス	
INFINEON TECHNOLOGIES AG	27.7	11.4	20	2,661	情報技術	
KRONES AG	4	2.6	20	2,608	資本財・サービス	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	89.45 8銘柄	35.2 5銘柄	195 25,084	<9.9%>	
ユーロ (スペイン)	百株	百株	千ユーロ	千円		
MELIA HOTELS INTERNATIONAL	—	12.7	11	1,430	一般消費財・サービス	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	— 1銘柄	12.7 1銘柄	11 1,430	<0.6%>	
ユーロ (イタリア)	百株	百株	千ユーロ	千円		
DIASORIN SPA	—	5.4	43	5,560	ヘルスケア	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	— 1銘柄	5.4 1銘柄	43 5,560	<2.2%>	
ユーロ (フィンランド)	百株	百株	千ユーロ	千円		
NOKIA OYJ	135	77	37	4,823	情報技術	
KONE OYJ-B	—	5.6	24	3,134	資本財・サービス	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	135 1銘柄	82.6 2銘柄	61 7,958	<3.1%>	
ユーロ (オーストリア)	百株	百株	千ユーロ	千円		
PALFINGER AG	9.7	—	—	—	資本財・サービス	
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	9.7 1銘柄	— —	— —	<—>	
ユーロ通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	385.52 23銘柄	236.52 22銘柄	896 115,371	<45.3%>	
ファンダ合計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,056.52 45銘柄	552.32 43銘柄	— 248,375	<97.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

■投資信託財産の構成

2018年11月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	248,375	92.9
コール・ローン等、その他	19,054	7.1
投資信託財産総額	267,429	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月27日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=145.44円、1スイス・フラン=113.69円、1デンマーク・クローネ=17.24円、1スウェーデン・クローネ=12.49円、1ユーロ=128.63円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（252,322千円）の投資信託財産総額（267,429千円）に対する比率は、94.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	267,429,154円
コール・ローン等	3,803,371
株式(評価額)	248,375,121
未収入金	14,948,700
未収配当金	301,962
(B) 負債	12,875,245
未払金	12,575,213
未払解約金	300,000
その他未払費用	32
(C) 純資産総額(A - B)	254,553,909
元本	302,178,814
次期繰越損益金	△ 47,624,905
(D) 受益権総口数	302,178,814口
1万口当り基準価額(C/D)	8,424円

* 期首における元本額は555,641,110円、当作成期間中における追加設定元本額は33,424,125円、同解約元本額は286,886,421円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジあり）174,355,631円、ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジなし）127,823,183円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,424円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は47,624,905円です。

■損益の状況

当期 自2018年5月29日 至2018年11月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,300,532円
受取配当金	3,301,102
受取利息	1,645
その他収益金	150
支払利息	△ 2,365
(B) 有価証券売買損益	△30,233,781
売買益	22,740,883
売買損	△52,974,664
(C) その他費用	△ 754,874
(D) 当期損益金(A + B + C)	△27,688,123
(E) 前期繰越損益金	△33,299,078
(F) 解約差損益金	15,886,421
(G) 追加信託差損益金	△ 2,524,125
(H) 合計(D + E + F + G)	△47,624,905
次期繰越損益金(H)	△47,624,905

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。